

第四回いせしま綱曳き大会 競技規則

チーム編成

- ① チームは次のとおり編成される。
監督 1名 (小学生の部以外のクラスは、監督と選手との兼任は可。)
選手 (交代選手含む) 10名以内
- ② 競技は8人の選手によって行われ、選手の交代は2名まで認められる。
- ③ 小学生の部に出場するチームは必ず監督1名(成人)をつけること。
- ④ 一般男子の部、男子アスリートの部に出場するチームの選手8名の合計体重は600kg以内とし、選手を交代する場合でも合計体重が600kgを超えてはならない。
- ⑤ 一般男女混成の部に出場するチームは、競技選手8名の内、男子選手を1名～4名以内、合計体重を320kg以内とし、男女合計8名になるよう女子選手数を調整しチームを構成する。(例えば男子選手4名の合計体重が320kgを超えてしまう場合は、男子選手を3名、女子選手を5名の計8名でチームを編成する。)女子選手の交代は自由。男子選手は交代する場合でも合計体重320kgを超えてはならない。

【計量について】

- 1 計量は1kg単位とし、小数点以下は切り捨てる。
- 2 計量を受けた選手の手の甲には選手の体重が記入される。
- 3 計量にあたっては、シューズ、保護ベルト、上着類は着用しなくてもよい。
- 4 一般男子の部、男子アスリートの部出場チームの合計体重が600kgをオーバーした場合、また一般男女混成の部出場チームの男子選手合計体重が320kgをオーバーした場合は一度だけ再計量ができる。再計量でもオーバーした場合はオープン参加となる。
- 5 計量受付時間内に選手全員が揃わない場合は失格となる。

服装

- ① スポーツ競技に相応しい服装であること。各種スポーツチームのユニフォーム、はっぴ等の着用可
- ② シューズは綱引用シューズ、または室内専用シューズを着用すること。裸足での出場や、スパイクや靴底に突起のある靴の使用は認めない。屋外との兼用の靴は使用しない事。
- ③ 手は素手とし、手袋の使用は認めない。
- ④ 保護ベルトを着用する場合は、シャツの上に着用する場合に限って許可される。

競技

- ① 競技は、相手チームを自陣に4m引き込んだ場合、または相手チームが反則行為の繰り返しによって失格を宣言された場合に終了し、自チームの勝利となる。
- ② 予選リーグ戦は1セットマッチで勝敗を決し、1本先勝したチームが勝利チームとなる。各チームのサイドはあらかじめ抽選によって決定される。決勝トーナメント戦においても準決勝戦までは1セットマッチを採用する。
- ③ 各クラスの決勝戦は3セットマッチ(2本先勝)で勝敗を決する。決勝戦の2セット目はサイドを交代し、3セット目が必要な場合は抽選等によってサイドを決定する。
- ④ 選手のポジションは自由に変更でき、ロープを引く位置は、ロープの左右どちらでも良い。
- ⑤ ゲーム前の選手の交代は選手係に申し出ること。セット間に交代する場合は主審に申し出なければならない。一般男子の部、男子アスリートの部出場選手および一般男女混成の部出場の男子選手はその際に体重確認を経て交代する。
- ⑥ 監督は競技中に指揮をとることができ、競技中の選手に指示を与える場合は審判員の判定に支障が無い位置にいないなければならない。監督が競技中にレーンの内側に立ち入ることは許されない。
- ⑦ 競技開始時間になっても、競技選手8人が揃わないチームは不戦敗となる。